

第20回岡山県芸術文化賞 準グランプリ
第46回岡山市文化奨励賞 受賞
(公社)企業メセナ協議会事業認定事業

国吉祭 2022 CARAVAN in 和気町

岡山大学 国吉康雄研究講座が3年ぶりに対面アートイベントを開催



《鯉のぼり》1950年 国吉康雄作 福武コレクション



おめんワークショップ



額装づくり

工作ワークショップ

作品・模写の展示

TRPGプログラム体験

特別講演

映像作品上映会

水墨・毛筆体験

無料で作って
持ち帰りOK

参加無料

国吉祭って？

岡山には、児島虎次郎、竹久夢二、小野竹喬といった近代の巨匠作品から、雪舟や武蔵、浦上玉堂といった豊かな日本画コレクションや古代吉備、オリエント、そして池田家の貴重な宝物、資料など、国内外に誇る文化芸術資源が数多くあります。これらの美術コレクションのなかでも、明治に岡山で生まれ、世界的に評価される洋画家となった国吉康雄の作品コレクションは、質、量ともに世界最大規模とされています。岡山大学国吉康雄研究講座の企画する「国吉祭」は、そんな国吉作品と研究資料を、岡山の大切な文化芸術資源として活用することで、幅広い世代、地域のみなさんに、国吉康雄の芸術に触れ、その魅力を伝えようと、2013年から始まった体験型アートイベントです。国吉祭の企画と運営の中心となるのは、国吉康雄研究講座が開講している一般教養講義「クリエイティブ・ディレクター養成講座」です。岡山大学各学部の受講生が、文化芸術分野の教養やクリエイティビティを磨くトレーニングを受けながら、アートイベントを企画・運営するノウハウを学んでいます。

国吉祭はこれまで、岡山市、高梁市、玉野市、新見市などで開催してきましたが、この3年間はオンライン上で実施してきました。今回の和気での開催は、3年ぶりの対面イベントとなります。

会場：ENTER WAKE 1階・3階 (岡山県和気郡和気町福富607-3 / JR和気駅徒歩30秒)

時間：11月19日(土)11:00~16:00

公益財団法人
福武教育文化振興財団

THIS IS MECENAT
2022



主催：(一社)クニヨシパートナーズ
主催：文化がまちにある！プログラム in 備前実行委員会 / 岡山県(公社)岡山県文化連盟 / おかやま県民文化祭実行委員会
企画：岡山大学学術研究院教育学域(国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座)一般教養講義「クリエイティブ・ディレクター養成講座」
制作協力：岡山大学 5D Lab. / 和気商工会 / ENTER WAKE / クリエイティブゲーム振興会
取材協力：株式会社豊永こいのぼり
助成：(公社)福武教育文化振興財団
後援：和気町 / 和気町教育委員会

国吉祭 × 和気町

国吉祭は、「国吉康雄」という岡山の文化芸術資源を地域に持ち込むことで、地域に伝わる伝統や文化を再確認し、世代、地域を越えた交流の場を生み出すために開催されてきました。「国吉祭 2022 CARAVAN in 和気町」を実施するため、学生たちは取材と企画に取り組んでいます。今回、国吉祭を「ENTER WAKE」で開催する理由は、国吉が描いた「鯉のぼり」という作品にあります。この作品は、昭和6年から7年にかけて帰国した国吉が、アメリカに持ち帰った和紙の「鯉のぼり」をもとに描いたものです。この和紙のこいのぼりの制作地の特定に、和気で鯉のぼりを生産する、徳永こいのぼりの職人さんたちにご協力をいただきました。残念ながら、国吉が買い求めた鯉のぼりは、岡手で作られたものではありませんでしたが、この和気で国吉の持ち帰った鯉のぼりを展示し、国吉祭を実施することで、国吉康雄のことを和気の皆さんに知っていただき、学生との交流を深めていただければと願っています。

国吉康雄について



Photo by Souichi Sunami

20世紀を代表する洋画家のひとりです。1889年岡山市北区出石町で生まれ、1906年に、日露戦争終結後、混乱する日本を離れ、労働移民として単身渡米。絵の才能を認められ画家として活躍する一方、教育者や社会活動家としても高く評価されました。太平洋戦時中は、敵国人身分となりますがアメリカに残り、ナチスや軍国主義を批判し、晩年はアートのオリンピックと呼ばれる、ベネチアビエンナーレのアメリカ代表にまでなります。1953年、ニューヨークで亡くなりました。

1階ワークショップ・作品展示会場

ワークショップ

いろいろこいのぼり

国吉康雄作品「鯉のぼり」に自由に色を塗るワークショップです。会場内にあるさまざまなペンで色を塗ってオリジナルのこいのぼりを作りましょう。

クイズ&スタンプラリー

会場内を周り、国吉康雄や国吉作品、和気町に関するクイズを解きながらスタンプを集めていくゲームです。全部集めたら景品をプレゼント！



工作ワークショップ

国吉康雄が描いた作品のモチーフの「お面」を作るワークショップや、オリジナルの絵の額を作る「額装」ワークショップなど、たくさんの工作体験に、いつでも参加することができます。

赤木研究室提供プログラム「国吉さんも学んだ(?) 図画教科書を見て描いてみよう！」



当時の教科書「小学毛筆図画帖」より

国吉康雄が岡山の小学校に通っていた明治30年代、図画の授業では教科書に載っている絵をお手本に、墨を使って毛筆で描くことが主に行われていました。この頃の図画教科書を見て、和気にゆかりのある「藤」や「鯉」、和気清麻呂のような古代の衣装の人物像などを、真似して描いてみませんか？もっと簡単なものから始めたい方にも、ぴったりなお手本が見つかるかもしれません。水墨や毛筆の使い方に慣れたら、自由に描くことを楽しんでみてください。

飛び出すメッセージカード作り

こいのぼりの飛び出すカードを飾っていくワークショップを行います。自由に飾り終わったら、カードの中のこいのぼりに名前を付けてあげてください。自分だけの飛び出すメッセージカードを作ってみませんか。



テーブル・ロール・プレイング・ゲームプログラム

※詳細は二次元コードからホームページを確認ください。
三菱みらい育成財団の認定事業として今季から岡山大で実施されているナラティブメーカー（物語を作る）プログラム「テーブル・ロール・プレイング・ゲーム 言の葉の探求者たち」のテストプレイ体験会を実施いたします。

展示コーナー

岡山大共育共創コモンズ建築模型

世界的建築家と岡山大特別招聘教授である隈研吾氏による建築模型を、建築現場を記録したタイムラプス動画と共に紹介します。

国吉康雄実寸代模写作品

広島市立大学や筑波大学の画学生たちが、精緻に制作した国吉康雄作品の実寸大模写が展示されます。

清志初男作品

生涯を国立療養所長島愛生園で暮らした画家清志初男氏の作品が展示されます。



国吉講座が取材・研究する作家の作品を展示

3階 講演会・上映会会場

講演会 (①13:30~ / ②14:30~)

①「岡山大オンライン教育推進室の活動について」

講師：伊藤 駿

(岡山大国吉康雄研究講座助教 / 教育推進機構オンライン教育推進室 委員)

私たちはコロナ禍の2年間で既存の機材を組み合わせて対面に近いオンラインの仕組みをシステム化しました。社会や学校で必要なリテラシー教育と機材の基礎知識について、大学の最前線から報告します。
※講演後質疑応答有。

②特別講義「SNS 社会とコロナ禍に「みるを分かち合う」こと～絵画表現・ジブリ作品とその後のアニメーション表現から」

講師：才士 真司

(岡山大国吉康雄研究講座准教授 / 教育推進機構オンライン教育推進室 座長)

表現芸術の深い見方と個々人の創造性と探求心養う、岡山の人気講義「アートとコミュニケーション」。毎年200名以上の学生と社会人が受講する講義を国吉祭で特別開講します。

※国吉祭の最新情報、詳細は、特設ホームページをご確認ください。

※新型コロナウイルス感染状況によっては予告なしにプログラムを変更する可能性があります。ご了承ください。

ドキュメンタリー作品上映会

【国吉を誤解している日本・忘れたアメリカ】 11:15~

上映時間 75分

国吉最後の生徒と、国吉研究の日米の第一人者が語る新たな国吉像を紹介する学術ドキュメンタリー

【碧と祈る 画家・清志初男】 12:45~

上映時間 25分

長島愛生園で暮らした洋画家・清志初男が生涯の画題として選んだ石仏に託した想いに迫る

問い合わせ

国立大学法人岡山大学学術研究院教育学域

《国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座》

〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1

☎ 086-289-5807

@FesKuniyoshi

✉ s.ito@okayama-u.ac.jp

yasuo.kuniyoshi.jp



国吉康雄
プロジェクト
ホームページ
二次元コード

kuniyoshi_art_fes2022